



株式会社ワールドインテック

証券コード：2429

株主の皆様へ

第21期 中間株主通信

2013年1月1日～2013年6月30日



人が生きるカタチ



WORLD INTEC GROUP

創業20周年、さらなる飛躍へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社の第21期第2四半期累計期間（2013年1月1日～2013年6月30日）の株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社は、創業来、世界に開かれた人と人とのつながりである“絆”をつくることを理念とし、より多くの人々に多様な働く場所としての「人が生きるカタチ」を創造するという社会的使命に取り組んでまいりました。おかげさまで、今年2月には創立20周年を迎え、今期は第21期を数えます。これもひとえに、皆様のご支援の賜物と深く感謝しております。中期経営計画の達成に向けて、グループの役員及び従業員一同、全力で社業発展に努めてまいりますので、引き続き当社グループの事業活動へのご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役会長兼社長
伊井田 栄吉

当中間期業績と今期の展望について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の緊急経済対策の進捗による公共投資の増加や、円安による輸出環境改善などにより、鉱工業生産指数も5月で前月比プラス2.0%と4ヵ月連続上昇するなど回復基調を示しました。また、6月調査における日銀短観の業況判断DIでは3月調査対比でプラス12%ポイントの大幅改善を示しており、6月の日経平均株価の月平均は2012年平均対比でおよそ4割上昇しています。

しかし、株高・円相場は5月以降、上下変動が激しい上、株高による資産効果は低所得者層まで及ばず、年初から個人消費の押し上げ要因となってきたマインド効果があるも、企業の所得環境改善行動は非正規雇用やボーナスなど調整を行いやすい部分中心にとどまるため、一般の所定内給与は明確な改善に至っておりません。今後、物価や賃金が伸びない中で円安に振れた場合には、個人消費が冷え込むリスクを内包したものとなっております。

こうした中で、わが国の期待成長率が低下していることもあり、企業は国内での設備投資よりも、高い経済成長率を示す新興国の需要取り込みに向けて海外に設備投資する動きが活発になっており、製造拠点の海外シフト、海外現地での仕入割合増強など、為替動向に左右されにくい構造への体質転換を加速させております。

需要の面で上向き一方で、人材の供給面に目を向けますと、総務省統計局の5月の労働力調査によれば、就業者数は6,340

万人で前年同月に比べ43万人の増加、派遣労働者数も前年同月より増加し116万人と大きく改善されているものの、製造業での就業者数は1,039万人と前年同月比で36万人減少しており、人材の製造業離れが進み、情報通信・小売・サービス業などに就労者が流れている状況を表しております。

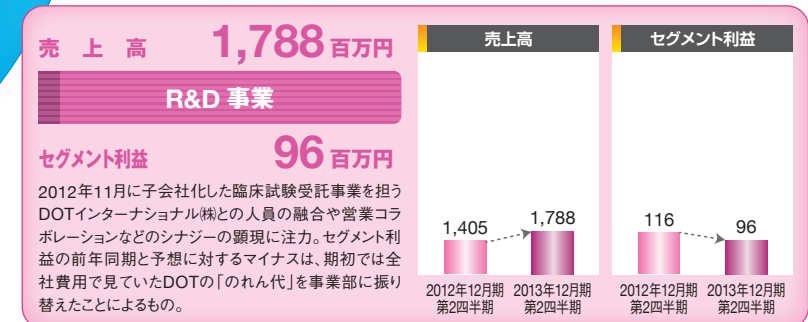
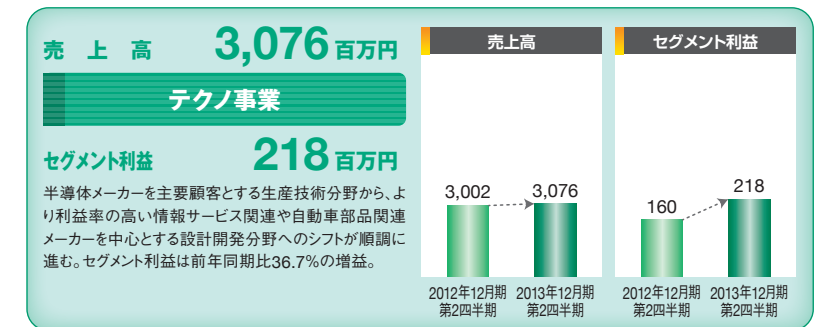
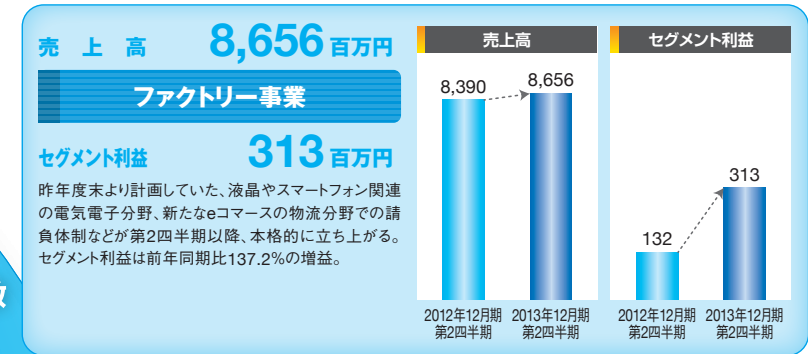
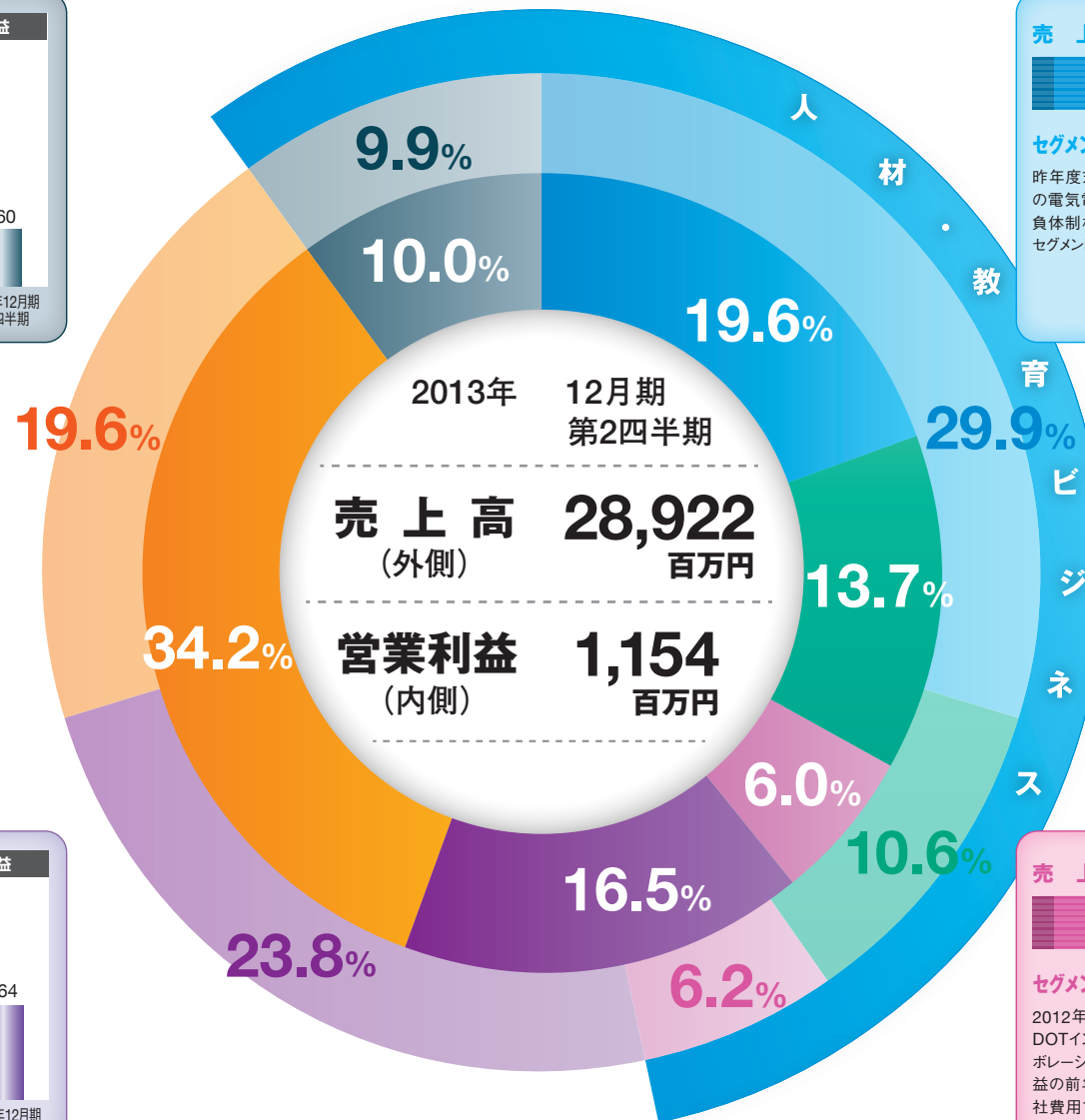
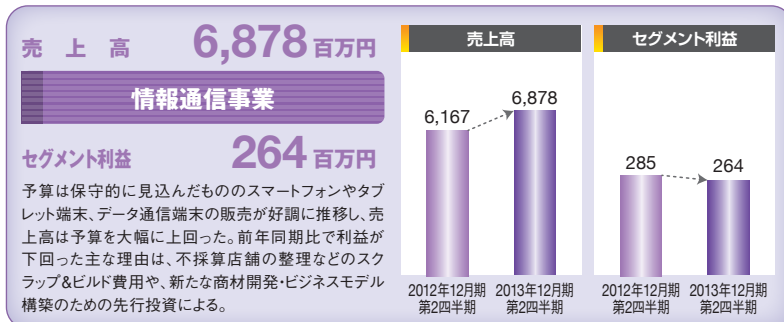
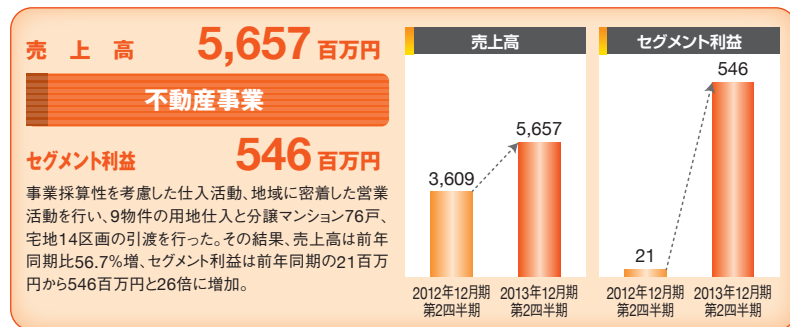
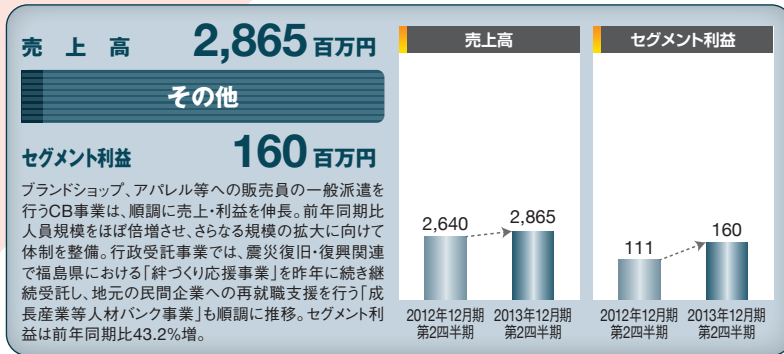
このような状況下、当社グループの人材・教育ビジネスにおきましては、物流分野や自動車分野、スマートフォン関連の電気電子分野を中心に増加傾向にある人材需要に対する的確に応えられるよう、これまで製造派遣・請負業界では概念としてなかった登録型の採用業務管理システムの開発を進め、求職者情報の蓄積・迅速なマッチングによる採用力強化に努めました。

情報通信ビジネスにおきましては、スマートフォンやデータ通信端末の普及に伴い活況を呈する市場を背景として好調に推移し、スマートフォンを中心に半期で過去最高の販売台数を記録いたしました。

不動産ビジネスにおきましては、首都圏では、当第2四半期末に今期分譲物件の引渡を開始した他、販売用不動産の売却や宅地区画分譲から一括売却への切り替えなどがあり、売上・利益に大きく貢献しております。東北エリアでは、来期以降に向けて事業基盤の整備を行いました。

当社グループでは、これら3つのコアビジネスを柱として外部環境変化に強いポートフォリオを構築し、保守的かつ堅実な経営を今後も実践してまいります。

セグメント別の事業報告



※営業利益の構成比は、セグメント間消去・全社費用を控除前のベースである1,599百万円を100として算出

※外側の青い帯が示すように、人材・教育ビジネスが売上高の約6割、営業利益の約5割を占めています。

人材・教育ビジネス

人材・教育ビジネスにおいては、アベノミクス効果もあり需要の面で上向く一方、人材の供給面に目を向けると労働者数の減少に伴い、今後、益々厳しさを増していくことが予想されます。こうした採用市場環境に対応すべく、当社は採用力強化の取り組みに力を入れています。

その取り組みとしては、大きく2点あり、一つは応募者の拡大、もう一つは応募者情報の有効活用です。応募者拡大のための施策として、当社独自の求人サイト「JOB PAPER」の機能を一新し、応募登録入力の簡素化や、サイトデザイン変更により、求職者が応募しやすく、仕事を見つけやすい仕組みを取り入れています。他にもスマートフォンからのアクセスを可能にし、メールマガジンを配信するなど新たな機能も追加されており、登録のあった求職者への継続的なアプローチや、広告費などのコスト削減を目指します。

また、応募者情報の有効活用については、製造派遣・請負の業界にはもともとなかった「登録型」の概念を取り入れ、条件が合わず不採用となった応募者の情報が別案件で採用候補情報として活用されるように、今まで別個で動いていた採用業務管理システム、応募者受付システム、面接管理システムを連動させ、「業務管理システム」として一括情報管理できるようにしました。これにより、求人情報からの応募者一本釣り採用から、応募者情報を最大限活用した囲い込みの大量採用へ、手法を切り替えてまいります。

今後もこれらの採用力強化の取り組みにより、増加傾向にある人材需要に対する確に
 応えられるよう努めてまいります。

新JOB PAPERイメージ



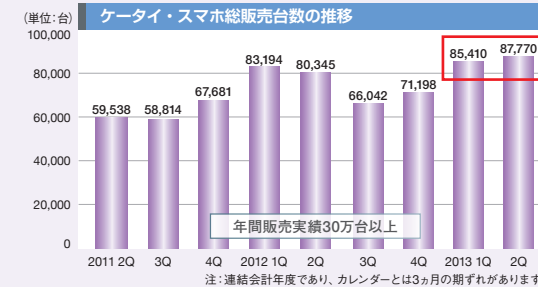
応募者情報の有効活用(新・業務管理システム)



情報通信ビジネス

情報通信ビジネスにおきましては、既存店舗のスクラップ&ビルドを推進し、店舗の採算向上を強化するとともに、顧客満足度を追求しスタッフの接客スキル向上に向けて教育体制を強化してまいります。また、ストック(継続手数料)の最大化に向け販売台数の拡販を強化し、当第2四半期には、過去最高の販売台数を記録しております。

他にも、店舗運営ノウハウを活かした「来店型保険&携帯ショップ」の運営開始や、沖縄県に2店舗のショップを開設するなど、新商材対応と販路エリアの拡大展開を進めてまいります。



みつばち保険ファーム小倉魚町店(福岡県)

不動産ビジネス

2013年12月期 竣工実績

レジデンシャル中野坂上



2013年5月 竣工

コンセプト
 「四季潤う、都心邸宅。」
 東京都中野区中央1丁目
 東京メトロ丸の内線「中野坂上」駅徒歩7分
 RC造地上5階建 60戸

レジデンシャル鷺ノ宮



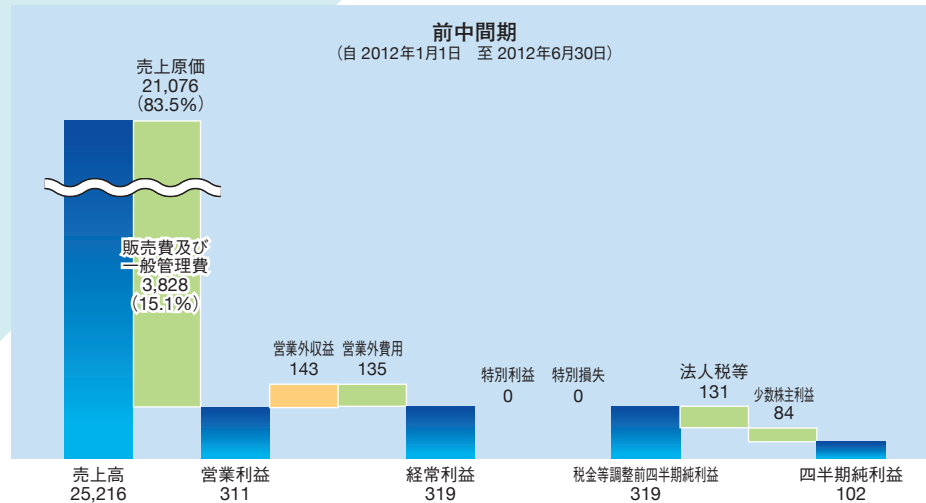
2013年5月 竣工

コンセプト「緑優美邸」
 東京都中野区白鷺1丁目
 西武新宿線「鷺ノ宮」駅徒歩5分
 RC造地上3階建 40戸

連結決算情報

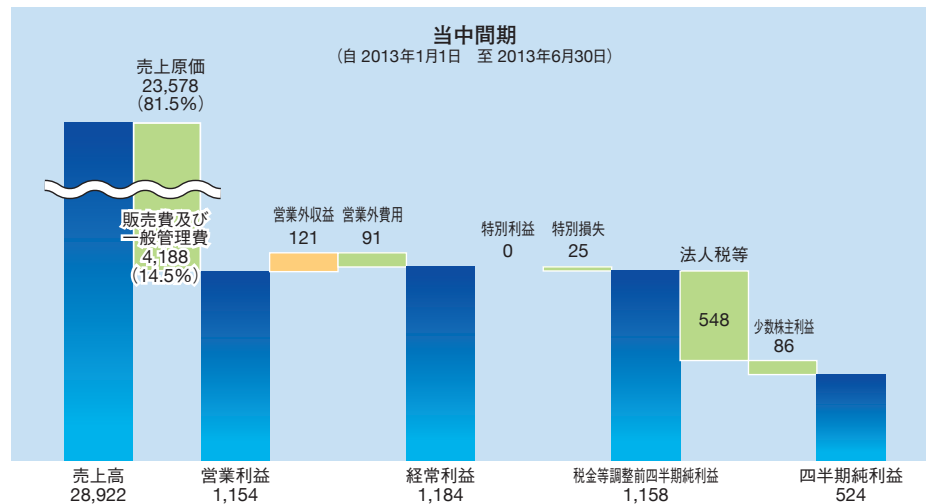
PL

(単位:百万円)



PL

(単位:百万円)

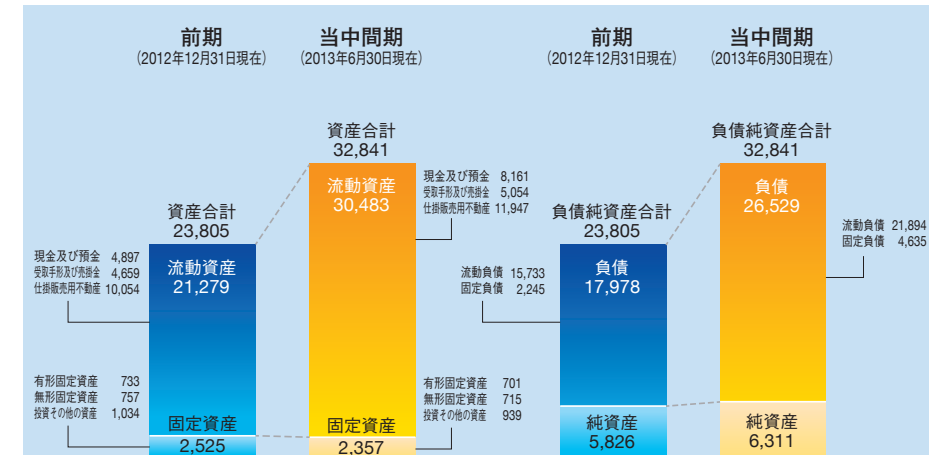


POINT

前年同期比14.7%増収の要因は、第一に不動産ビジネスにおける新規分譲引渡が6月に集中したことであり、次いで情報通信ビジネスでスマートフォン等の販売が好調だったこと等です。大幅な増益の主な要因は、人材・教育ビジネスのファクトリー事業での原価改善が進んだことや大型案件が順調に推移したことに加え、不動産ビジネスにおいて、販売用不動産の売却益を計上したこと、一部物件を宅地区画分譲から一括売却にしたことにより売上計上が前倒しとなったことによるものです。

BS

(単位:百万円)

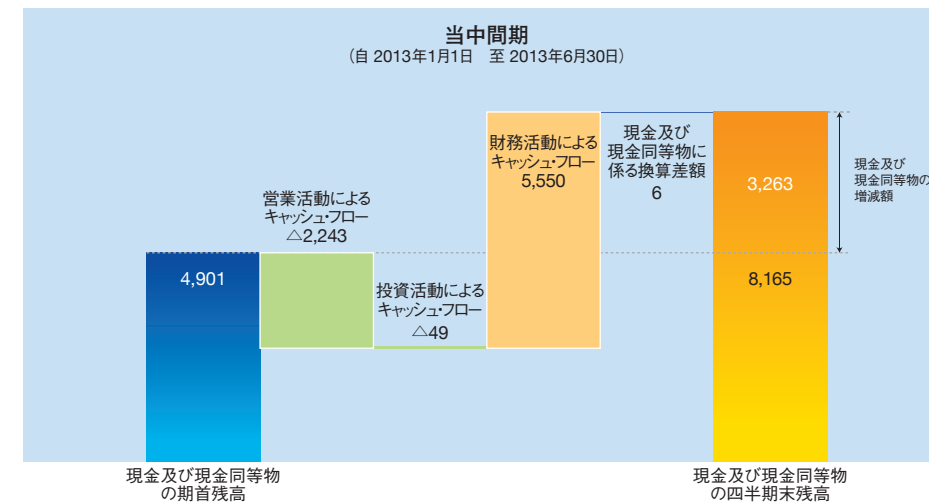


POINT

総資産は、現金及び預金の増加額、仕掛販売用不動産の増加などにより、前期末と比較して90億35百万円増加しました。負債合計は、販売用不動産の購入資金として調達した短期借入金の増加や、長期借入金の増加により、前期末と比較して85億50百万円増加しました。

CF

(単位:百万円)



POINT

営業活動キャッシュ・フローの主なマイナス要因は、売上債権の増加、販売用不動産の増加、未収入金の増加などによるものです。投資活動によるキャッシュ・フローの主なマイナス要因は、有形固定資産の取得による支出によるものです。財務活動によるキャッシュ・フローの主なプラス要因は、短期借入金の純増、長期借入れによる収入によるものです。

会社概要 / 株式の状況

会社概要

2013年6月30日現在

- 社 名 株式会社ワールドインテック
- 設 立 1993年2月12日
- 資 本 金 701百万円
- 代 表 者 代表取締役会長兼社長 伊井田 栄吉
- 従業員数 9,373名 (連結)、7,906名 (単体)
- 所 在 地 〒802-0077
福岡県北九州市小倉北区馬借一丁目3番9号
クエスト第2ビル 4F
TEL. 093 (533) 0540 FAX. 093 (513) 1352

事業内容

- 上場企業を主体とする研究開発・情報、技術、製造分野の総合コンサルティング、人事コンサルティングおよびアウトソーシング
- ファクトリー事業 (製造・物流分野の派遣・請負)
 - テクノ事業 (生産技術・設計開発分野の派遣・請負)
 - R&D事業 (研究者・研究補助の派遣)
 - その他 (販売員・施工管理者派遣、行政受託業務等)

役員

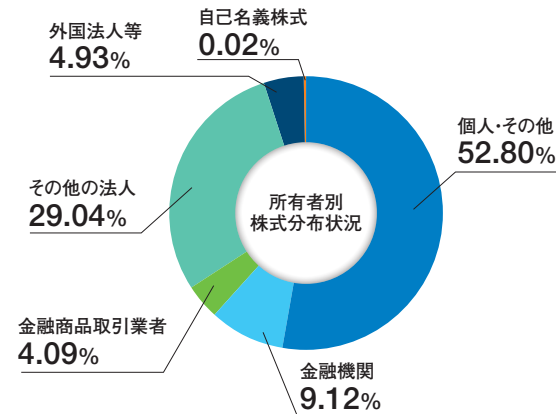
- 代表取締役会長兼社長 伊井田 栄吉
- 代表取締役副社長執行役員 菅野 利彦
- 取締役副社長執行役員 野川 正孝
- 取締役副社長執行役員 岩崎 亨
- 取締役専務執行役員 本多 信二
- 取締役常務執行役員 中野 繁
- 取締役常務執行役員 三舛 善彦
- 取締役執行役員 高井 裕二
- 常 勤 監 査 役 安部 睦夫
- 監 査 役 加藤 哲夫
- 監 査 役 古賀 光雄

株式の状況

2013年6月30日現在

- 発行可能株式総数 54,000,000株
- 発行済株式の総数 16,826,500株
- 株主数 2,482名
- 大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
IIDA総研株式会社	4,500,000株	26.74%
伊井田 栄吉	3,361,500株	19.97%
株式会社北九州銀行	709,200株	4.21%
安部 南鎬	635,200株	3.77%
折戸 哲也	603,550株	3.58%
株式会社西日本シティ銀行	300,000株	1.78%
三井金属鉱業株式会社	225,000株	1.33%
ピーエヌピー パリバ セキュリティーズ サービス ルクセンブルグ ジャスデック セキュリティーズ (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	220,000株	1.30%
株式会社三菱東京UFJ銀行	180,000株	1.06%
株式会社SBI証券	166,300株	0.98%



拠 点

2013年6月30日現在

■ 本社

● 営業所

札幌、岩手、仙台、福島、富山、金沢、土浦、高崎、宇都宮、大宮、千葉、東京、八王子、横浜、富士小田原、浜松、名古屋、京都、福知山、大阪、鳥取、姫路、岡山、広島、山口、松山、北九州、福岡、大牟田、熊本、大分、宮崎

■ 関連会社

- 台湾英特科人力(股)公司
- DOTインターナショナル(株)
- (株)イーサポート、(株)モバイルサービス、(株)ネットワークソリューション、(株)ワールドオンライン、(株)ベストITビジネス
- (株)ワールドレジデンシャル、ニチモリアルエステート(株)、(株)ワールドレジセリング、(株)ワールドアイシティ
- 九州地理情報(株)、(株)アドバン、(株)ワールドインテック福島



株主メモ

- 事業年度 毎年1月1日～12月31日
- 定時株主総会 毎年3月
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関
- 同 連 絡 先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先
0120-232-711 (通話料無料)
各種用紙のご請求
0120-244-479 (通話料無料)
- 公 告 方 法 電子公告により、当社ホームページ
(<http://www.witc.co.jp>)に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

ホームページ



<http://www.witc.co.jp>



本社:北九州市小倉北区馬借1-3-9 クエスト第2ビル 4F
Tel.(093)533-0540 Fax.(093)513-1352